



## 第73回卒業証書授与式

3月10日（金）に第73回卒業証書授与式を行ないました。

小学校から中学校へと環境が大きく変わる大事な時期に休校があり、コロナ禍による大きな不安や困難をいくつも乗り越えてきた生徒たちです。

様々な制限がある中で最善の方法をみんなで考え、学校生活を実りあるものにしてきました。卒業式当日もたくさんの思いが詰まった素晴らしい式となりました。

### < 卒業生 別れの言葉 >

卒業生代表 原 祐生

冬の寒さも和らぎ、暖かな風に春の訪れを感じる季節となりました。本日は私たち158名の卒業生のためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。先ほどは、渡邊校長先生、PTA会長丸山様、在校生代表から温かい励ましのお言葉を頂戴し、巣立つ寂しさを実感するとともに、改めてこの先の決意を固めることができました。



三年と少し前、二月のことを、皆さんは覚えているでしょうか。その日、新型コロナウイルスによる臨時休校で、私たちの小学校生活は突然終わりました。仲間と別れを伝えあう十分な時間もなく、これからどうなっていくのだろうという不安を抱えながらの小学校卒業となりました。それでも、大きな制服に身を包み、新たな生活に希望をもって、私たちは中学校に入学しました。新しい友達を作りたい、部活動に取り組みたい、たくさんやってみたいことがありました。しかし入学後すぐに臨時休校、分散登校になってしまいました。すぐには友達を作ることができず、中学校生活に対する不安は大きくなりました。その後、中学校生活がスタートしても、マスクの着用、黙食など、例年とは異なることがたくさんありました。そのような学校生活の中でも徐々に仲間ができ、コロナ禍でも彼らとどうやったら楽しむことができるかを深く考え、実行していくことができました。コロナによる様々な束縛で生活してきたという辛い思いよりも、仲間と学校生活を工夫しながら過ごしたたくさんの楽しい思い出、嬉しい思い出ができた素晴らしい日々を送ることができました。

東風祭では、各軍それぞれリーダーを中心に話し合い、マスク着用、応援での隊形移動など、最大限の工夫を凝らし、コロナ前と変わらないぐらい、いや、それ以上の盛り上がりを見せた行事になりました。東華祭では、クラスが一丸となって練習に励み、当日は心を込めて、最高の合唱を体育館中に響かせることができました。この二つの行事から「協力すること」の大切さを学びました。そして、修学旅行。延期や行き先の変更があり、最初は修学旅行に対するモチベーションが高まりづらかったと思います。しかし修学旅行の具体的な準備が進むにつれ、徐々に私たちの気持ちも弾み、長野・岐阜方面の修学旅行でしか味わえなかったたくさんの経験をすることができました。雄大な自然に触れ、その美しさや鮮やかさを実感できました。ま

たペンションで仲間と共に過ごし、より絆を深めることができました。間違いなく修学旅行が私たちの三年間で最高の思い出になったと思います。

在校生のみなさん、部活動や生徒会活動、行事などで関わった日々は、私たちにとって大切な思い出です。上級学年として、うまく皆さんを導くことができなかつた時もあったと思います。それでも、私たちを信じて最後までついてきてくれて、本当にうれしかったです。次は皆さんが中心となって東新潟中学校を創り上げていく番です。仲間と相談し合い、挑戦するつもりで何事にも取り組んでください。皆さんならこれから先、きっとより良い東新潟中学校を盛り上げていくことができると確信しています。母校に誇りを持ち、大きく成長してってください。私たちは皆さんのことをずっと応援しています。

先生方、今までたくさんのご指導、ありがとうございました。どんな時も私たちを見守り、支えてくださいました。いつも優しく、時に厳しく私たちを導いてくださった先生方。笑顔で語りかけ、たくさん話を聞いてくれた先生方。そんな先生方と共に、とても充実した学校生活を送ることができました。様々なことに挑戦することもできました。中学校生活での経験を糧に、各自の目標に向かって大きく一步踏み出していこうと思います。

そして、今までずっと一番近くで支えてくれた家族。たくさん話をし、時には喧嘩をして、そんな家族の時間があつたからこそ、今の自分があります。こうして卒業式を迎える今日この日、今までのことを振り返ると、家族からたくさんの愛情を受け、支えられて私たちは成長できたということがわかります。普段はなかなか伝えられませんでした。今日ははっきりと伝えます。「今まで本当にありがとうございます。これから先、どんな大変なことがあつても、諦めずに進んでいきます。これからもずっと私たちを応援してください。お願いします。」

共に東新潟中学校での三年間を過ごしてきた卒業生の皆さん。私たちは互いに切磋琢磨しあい、成長してきました。皆さんと、毎日の授業で関わり、共に学校行事や生徒会活動を創り上げていく中で、たくさんの経験をし、思い出を作ることができました。これから先、どんな辛いことがあつたとしても、そんな経験や思い出は私たちの心の中に残り、大きな壁にぶつかったときに、背中を押してくれるものになると信じています。素晴らしい経験や思い出をこの学年で共につくることができ、私はとても幸せでした。私たちの将来がどんなものになるのかは分かりません。大きな困難がやってくることもあるかもしれません。それでも、この158人の仲間と共に、前を向いて進んでいきましょう。

最後になりましたが、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に改めて感謝を申し上げるとともに、東新潟中学校の益々のご発展を心より祈念して別れの言葉といたします。



## <在校生 送る言葉>

在校生代表 伊藤 まひろ  
鹿住 類生

厳しい寒さにも、春の訪れを感じさせる頃となりました。本日、この良き日に東新潟中学校を旅立たれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して心よりお祝いを申し上げます。

ご卒業にあたり、先輩方と過ごした日々を振り返ってみると、様々なことが思い出されます。卒業生の皆さんはこれまで、学校生活のいろいろな場面で、私たちを引っ張ってくださいました。

部活動では、入部したばかりの私たちに、部活動とはどんなものかを一つ一つ丁寧に教えてくださいました。そして、日々の練習の中で先輩方と一緒に競い合いながら、技術を磨くことができました。そこには私たちに常に寄り添い、未熟な私たちを支えてくださった姿がありました。しかし、大会での姿はいつもとは少し違い、本番に臨む真剣さ、厳しさが感じられ、張り詰めたような緊張感が伝わりました。先輩の背中を見ながら、いつか自分も晴れ舞台に先輩方のように臨めたらと思ったものでした。

生徒会活動では先輩方は活動の中心となり、私たちを支えてくださいました。どんな活動をすれば良いのか、活動の中で気をつけることは何かを教えてくださいました。そのおかげで慣れない活動もスムーズに進めることができました。

生徒会活動の充実を図るために年二回行われた力キャンペーン。各委員会がアイデアを出し、SDGsに基づいて今の私たちに必要な知識や活動を教えてくださいました。今年度は二つの委員会が協力し、健康について考える活動を行うなど、新たな活動も行われました。そして、校則について話し合った異学年交流。これらの新しい活動を通じて私たちは「自分で考え、協力して実行する」学校生活を知り、体験することができました。

また、学校行事では先輩方の「カッコいい」姿に触れ、一つのことをやり遂げる力をもらうことができました。今年度、東風祭では新しいことが二つありました。一つは五軍になったこと。もう一つは全校がグラウンドに集まって競技や応援を行えたことです。今までの三色に加え、橙軍、緑軍の新しいカラーが加わった応援やパネルは晴れ渡る青空の下、輝くばかりに素晴らしいものとなりました。同じグラウンドで初めて見る応援、競技。全力で競技に向かう姿、仲間間で信頼し合い、協力する姿はとても素晴らしく、力強いものでした。その姿を間近で見ることで、来年は自分たちも応援や競技に精一杯頑張りたいと思いました。

そして、卒業する皆さんにとって最後となった東華祭。皆さんの歌声を聞き、こんなにも難しい曲を力強く、美しく歌っていることに驚かされました。モニター越しで実際に聴くことはできませんでしたが、先輩方の東華祭にかける思いを、感じることができました。私たちも、先輩方の歌声を目標に東華祭に取り組んでいきたいと思えます。

今年度もたくさんの制約がある環境でしたが、様々な場面で先輩方は一人一人の個性を生かし新しいことを取り入れ、私たちに「力」を与えてくださいました。私たちは先輩方から受け継いだ伝統を守り、どんな時でも「力」を発揮できる東新潟中学校にしていきたいです。

卒業生の皆さんは、それぞれの道へ夢と希望を胸に進まれます。新たな道を進むその中で不安に感じることもあると思います。そんなときは、この東新潟中学校で仲間とともに過ごし、笑い合ったことを思い出して心の支えにしてください。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご活躍とご健康をお祈りし、送る言葉といたします。



